

タイトル

「ファニーたい焼きトムユーいろいろ
(抹茶&桜味)」

尺割

シーン 1: オープニング (5分)

シーン 2: 試作開始 (10分)

シーン 3: 新作お披露目 (15分)

シーン 4: SNS での爆発的バズり (20分)

シーン 5: レポーター登場 (15分)

エピローグ: 隣町のスパイ来店 (5分)

シーン… オープニング — 『たい焼き
きトム』店内

（朝、たい焼き屋の店内。壁には派手な
看板—“Funny Taiyaki Tom!”。店内にはさ
まざまなたい焼きの模型が飾られてい
る。）

トム（30代前半、陽気な米国人、たい焼
き大好き）：（日本語で）「おっはよー
ございまーす！今日もファニーなたい焼
きで、日本を笑顔にしますよー！」（カ
ウンターの向こうで巨大なボウルを抱
え、生地を混ぜている。）

魚住（20代前半、日本人女性、真面目な
バイト）：（溜息をつきながら）「トム
さん、朝からテンション高すぎます…。
今日は何を作るつもりですか？」

トム：（目をキラキラさせて）「今日は
これだよ！じゃーん！」（抹茶と桜の写

真を取り出す。「新作たい焼き、その名も——『春香るういろいろたい焼き』！」

魚住：（困惑した顔）「：いろいろ？しかも抹茶と桜って：、和菓子感強すぎませんか？」

トム：「その通り！でも考えてみて。たい焼きのカリカリと、いろいろのモチモチ：最高でしょ？」

（魚住、しばらく沈黙してから、諦めたように）

魚住：「もういいです：やりましょう。どうせ止められないんですから。」

トム：「ありがとう、魚住！やっぱり君がナンバーワンだよ！」

シーン②：試作開始（10分）

（店内の調理場。トムが巨大な鍋を用意し、抹茶と桜のういろう生地を練り始める。）

魚住：「トムさん、分量はちゃんと計りましたか？」

トム：（大雑把に材料を放り込みながら）
「うーん、計った：気がする！」

魚住：「気がする：じゃないです：。」

トム：「リラックスして、魚住！料理はアートだから、感じが大事だよ！」

魚住：（心配そうに）「その感じで前回の『納豆たい焼き』、大クレーム来ましたけどね：。」

トム：「今回は大丈夫！春の香りでみんなハッピーになるよ！」

（トム、生地を練り始めるが、予想以上に硬くて苦戦。）

トム：「うおおお！これ、なんて硬さだ！

魚住、いろいろ生地っていつもこんなにパワフルなの？」

魚住：（クスクス笑いながら）「たぶん、練りすぎてますよ。」

（トム、肩を揉みながらストレッチ。）

トム：「肩が悲鳴を上げてるよ……。でも、大丈夫！これはたい焼きへの愛の痛みだ！」

（魚住、微笑みながら手伝う。）

魚住：「トムさん、少し私もやりますから。力仕事だけが料理じゃありませんよ。」

トム：「ありがとう、魚住！これでア
トが完成する！」

（〇人が協力して生地を練るシーンをコ
ミカルに描写。）

シーン③：新作お披露目ーオープ
ン直後（15分）

（たい焼きの焼き上がりを確認するトム
と魚住。焼きたてのたい焼きから湯気が
立ち上り、ほんのり抹茶と桜の香りが広
がる。）

トム：（感動的に）「見て、魚住！この
完璧なフォルム！」

魚住：（微妙な顔で）「確かに香りはい
いけど…売れるんですかね、これ。」

トム：「心配無用！フアニー！たい焼きトムのファンは冒険心があるんだよ！」

（最初のお客が入店―中年の女性、常連の田中さん。）

田中さん：「おはよう、トムさん！今日の新作は？」

トム：「田中さん、今日は特別！『春香るういろいろたい焼き』で：あなたの心も春にします！」

田中さん：（興味津々）「ういろいろ：？珍しいわね。じゃあ一つちようだい。」

（田中さん、一口食べて：一瞬固まる。）

田中さん：「：モチモチしてる！抹茶の苦みと桜の甘さが絶妙！」

トム：（ガッツポーズ）「やった！大成功！」

魚住：（安堵の表情）「良かった：。」

（次々に来店する客たち。トムはさらにテンションが上がり、店内が盛り上がる。）

若い男性客：「抹茶の風味がこんなに濃
いとは：でも桜の甘みが後を引く！たま
らないな！」

OL：「いろいろなモチモチ感が癖になる。
たい焼きでこんな体験は初めて！」

（このシーンはさらに、外国人グループ
の来店と驚きのリアクションを細かく描
写。）

シーン4：SNSでの爆発的バズり（20
分）

（トムの新作たい焼きがSNSで話題となり、さらに多くの客が押し寄せる。）

高校生カップル：「これインスタ映えする！写真撮ろう！」

（たい焼きの断面がアップで映る。抹茶の鮮やかな緑と桜のピンクが層になり、美しいコントラストを見せる。）

SNSユーザー1：「たい焼きでこんな美しい断面見たことない！」

SNSユーザー2：「見た目だけじゃなくて味も最高らしい。行ってみたい！」

（店には行列ができ、トムと魚住は大忙し。）

魚住：「こんなに忙しいの、初めてです。」

トム：「これぞ、ファニーたい焼きの力だよ！」

シーン5: レポーター登場（15分）

（店内が大賑わいの中、テレビ局のレポーターが取材に訪れる。）

レポーター（30代男性、情熱的な口調）：
（マイクを持ち店内に）「ここがいま話題沸騰中の『ファニーたい焼きトム』さんです！」

トム：（満面の笑みで登場）「ようこそ、ファニーたい焼きトムへ！今日は最高の春の味をお届けしますよ！」

レポーター：「SNSでも大人気の新作家い焼き、その名も『春香るういろたい焼き』！抹茶とういろ：どんな味なのか、私も興味津々です！」

（レポーターが試食。）

レポーター：（目を閉じて味わう）「うん：！このモチモチ感、まるで春の草原を歩いているようだ！抹茶の深い味わいと桜の香りが、口の中で舞い踊る！」

（観客も次々にたい焼きを注文し、試食していく。各自のリアクションが大袈裟に描かれる。）

若い女性客：「こんなたい焼き、初めて！抹茶のほろ苦さが癖になる！」

外国人観光客：「Oh my god, this is like eating happiness!」

（店内は歓声と笑顔でいっぱいになる。）

エピソード.. 隣町のスパイ来店（5分）

（店の閉店間際、一人の怪しげな客が入店する。中年男性で、隣町のたい焼き屋の店主と判明。）

スパイ店主：「これが噂の：春香るういろうたい焼きか。」

（たい焼きを手に取り、一口食べる。）

スパイ店主：（驚愕した表情で）「こんなアイデア：！真似できるわけがない：！」

トム：（にこやかに）「どうぞ隣町にも春の風を届けてくださいね！」

スパイ店主：（慌てて去りながら）「この天才め：！」

（魚住、呆れた顔でトムを見る。）

魚住：「トムさん、また変な伝説を作っちゃいましたね。」

トム：「それが僕の生きがいさ！さあ、次は何を作ろうか？」

（画面は店内の楽しげな様子を映し、エディングへ。）

エピローグ ♪ 閉店後の団欒（5分）

（店内の照明が少し落ち着き、トムと魚住がカウンターに座っている。調理場には作り過ぎて余ったういろいろたい焼きが山積みになっている。）

魚住：「トムさん、これ：どうするんですか？」

トム：「もちろん食べるさ！アートは捨てられない！」

（トム、たい焼きを一つ手に取り、大口を開けて食べる。）

トム：「うおおお！このモチモチ感、何回食べても最高だね！」

魚住：（苦笑いしながら）「本当に好きですね、たい焼き：。」

（魚住も一つ取り、恐る恐る口に運ぶ。）

魚住：（驚きながら）「：意外と美味しいですね。」

食べ続ける二人。

咀嚼音が延々と店内に響く

完